

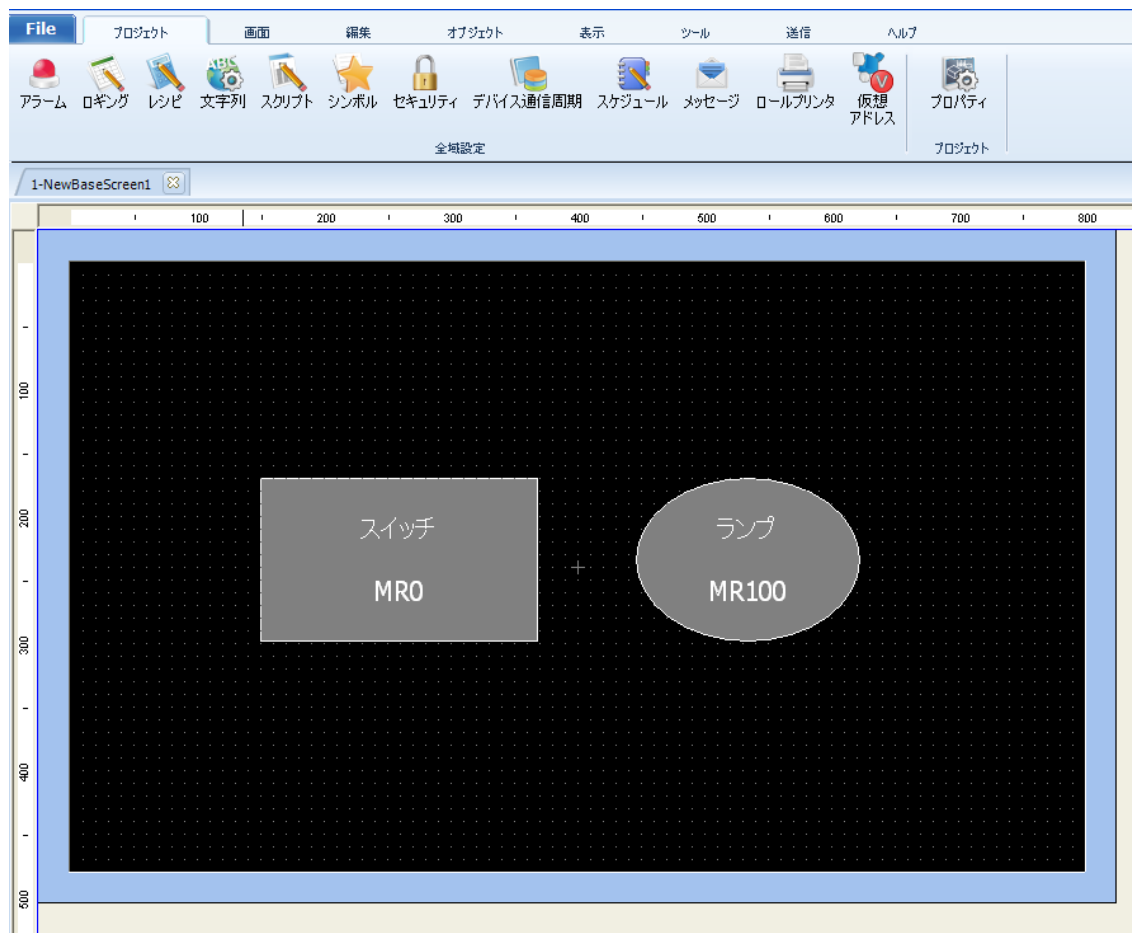
GX8 と KV(700、1000、3000、5000、7000)シリーズを RS-232C シリアル で接続する方法(CPU 直結)

設定の流れ:

1. GX8 Design Studio で GX8 側の設定を行う
↓
2. GX8 へプロジェクトを書き込む
↓
3. GX8 で通信テストを行う

1. GX8 の COM ポートの設定

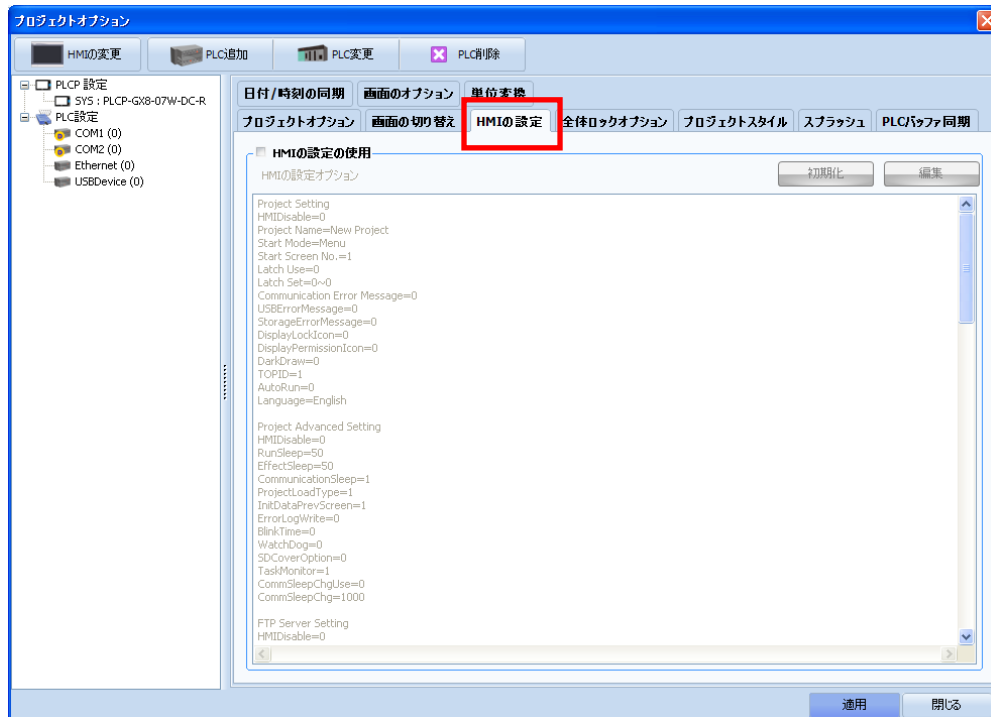
1-1. GX8 Design Studio を起動します。



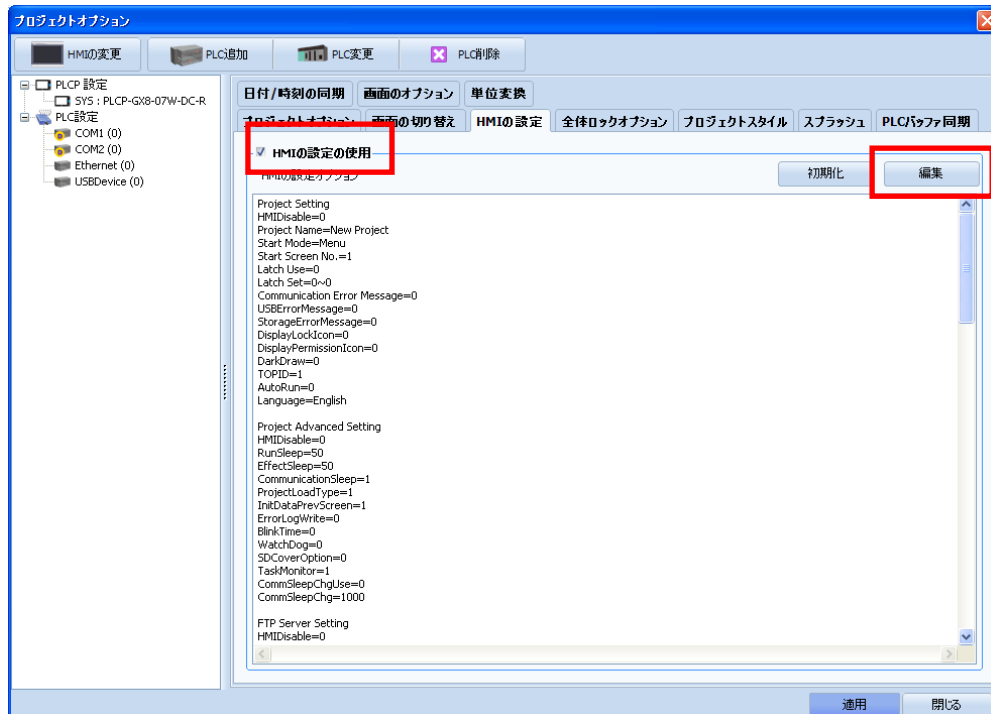
[プロジェクト]タブに表示を切り替え、右側の[プロパティ]をクリックします。



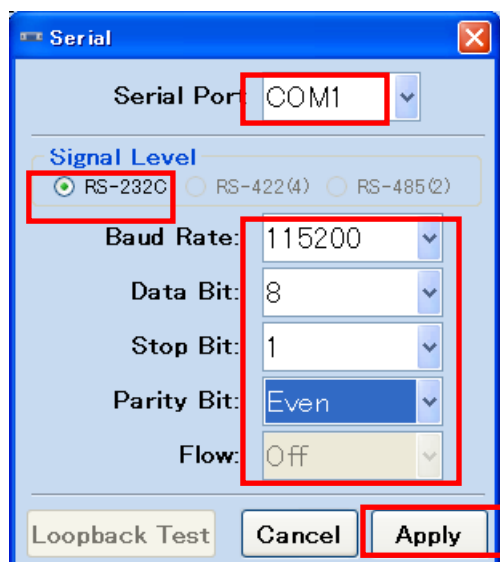
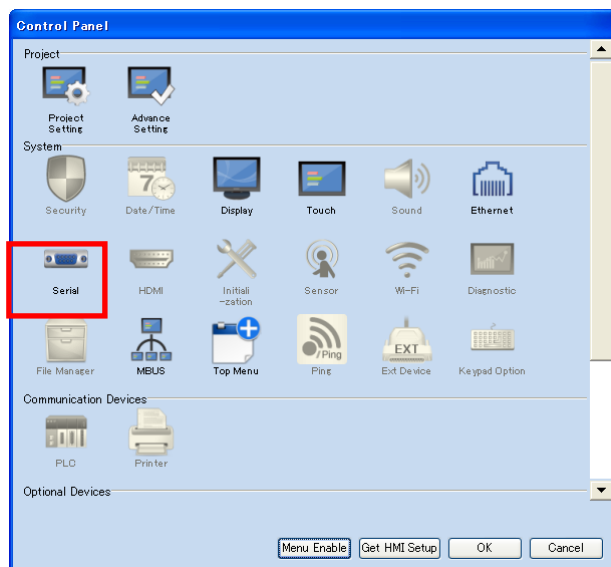
[プロジェクトオプション]画面の[HMI の設定]タブを開きます。



[HMI の設定の使用]にチェックを入れ、「編集」ボタンをクリックします。



[Control Panel]画面が開くので、「Serial」アイコンをクリックします。

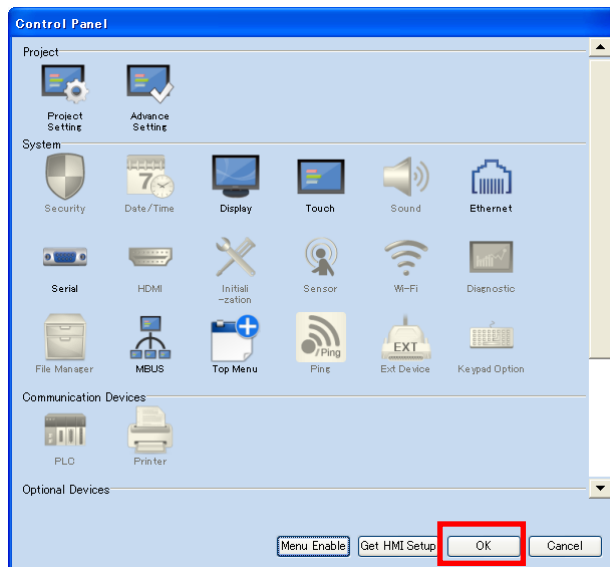


[Serial]画面が開くので、GX8 のシリアル設定を行います。

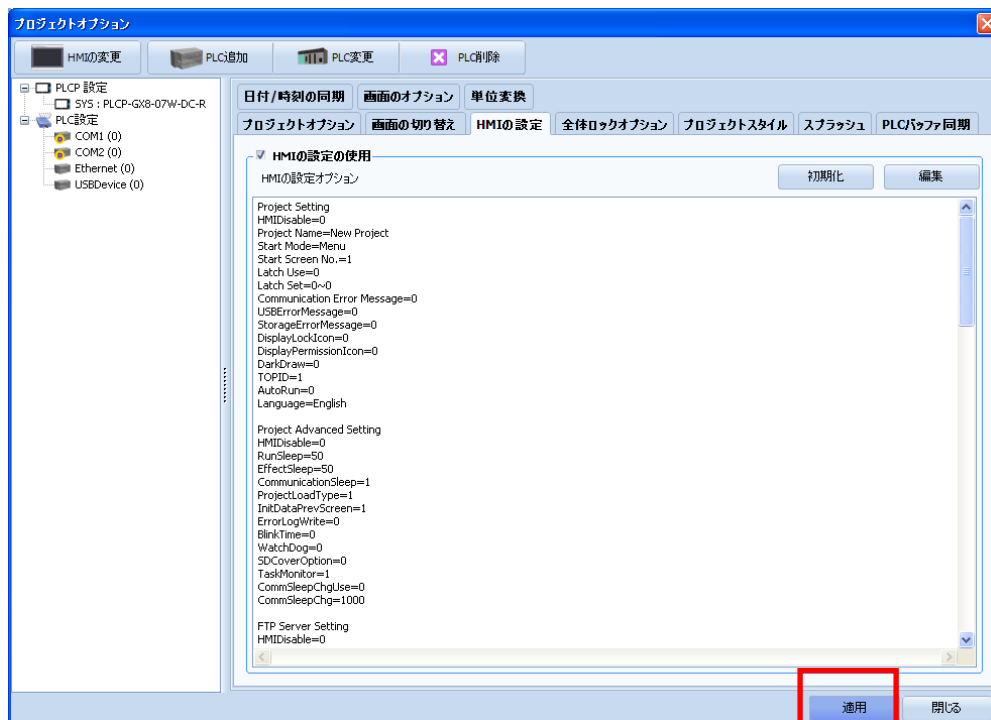
Serial Port	COM1 または COM2
Signal Level	RS-232C
Baud Rate	115200
Data Bit	8
Stop Bit	1
Parity Bit	Even

「Apply」ボタンを押す （※注意:まだ設定が有効になっていない）

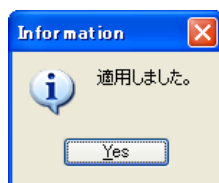
[Control Panel]画面に戻るので「OK」ボタンをクリックします。



プロジェクトオプション画面に戻るので「適用」ボタンをクリックします。



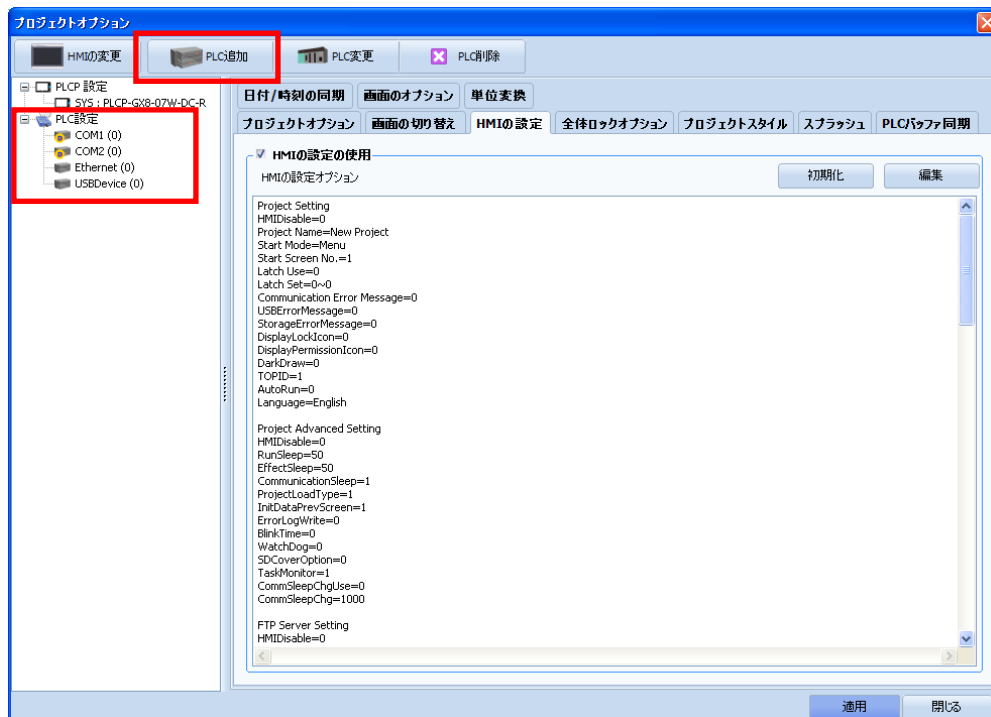
「Yes」をクリックし、プロジェクトオプション画面を「閉じる」ボタンで閉じます。



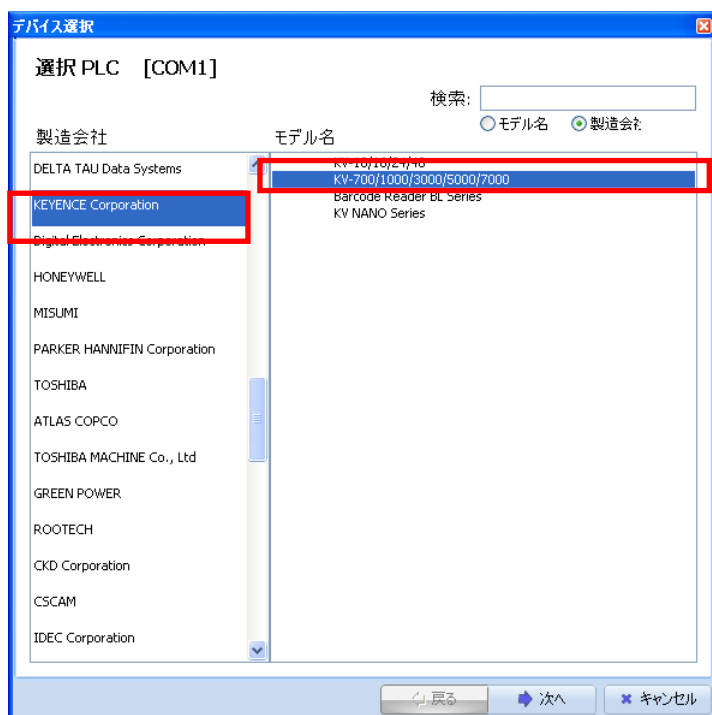
1-2. GX8 に PLC の通信設定を登録します。

[プロジェクトオプション]画面を開きます。

1-1 で設定した[COM1 または COM2]を選択し、「PLC 追加」ボタンをクリックします。



デバイス選択画面で[KEYENCE Corporation]—[KV-700/1000/3000/5000/7000]を選択し「次へ」をクリックします。



[通信オプションの設定]画面でPLC設定を行い「確認」をクリックします。

通信オプションの設定

PLCの設定

別名: PLC1

インターフェース: CPU Direct

プロトコル: CPU Direct

文字列の保存モード: First LH HL 変更

通信マニュアル

☐ 冗長使用

演算条件: AND

変更条件: ☐ タイムアウト 5 (秒)

☐ 条件 編集

Primary Option

TimeOut (ms): 300

SendWait (ms): 0

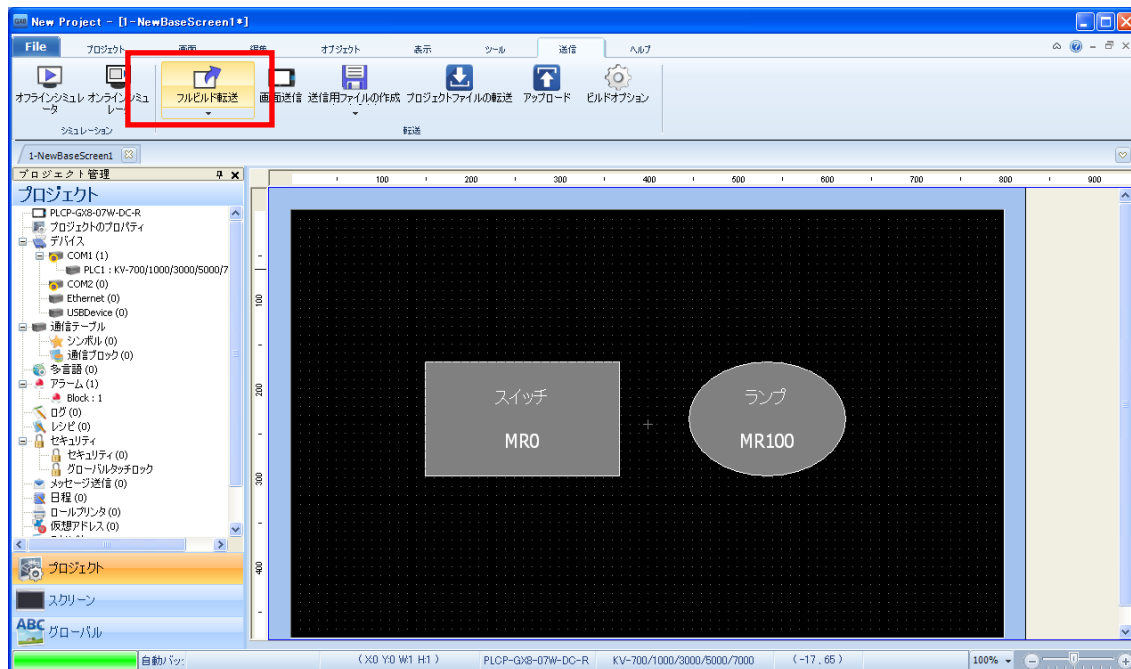
Retry: 5

確認 キャンセル

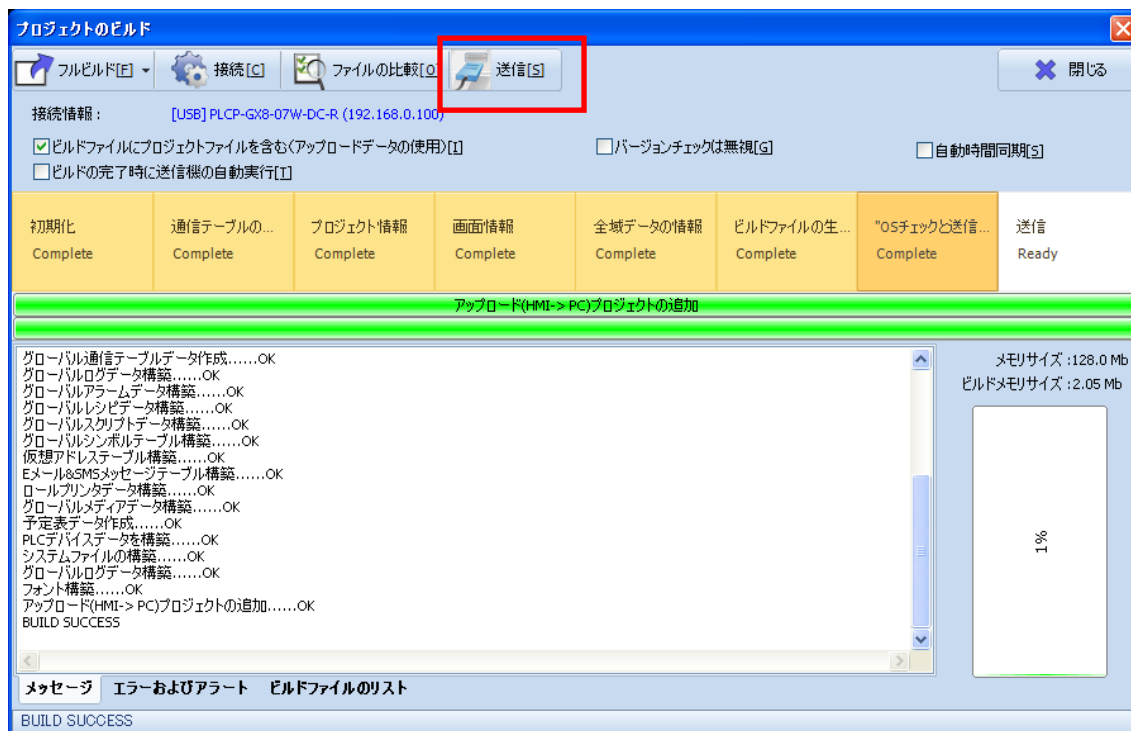
PLC の設定	
別名	PLC1
インターフェース	CPU Direct
プロトコル	CPU Direct
文字列の保存モード	First LH HL
Primary Option	
TimeOut	300
SendWait	0
Retry	5

2. GX8 にプロジェクトを書き込みます。

GX8 にプロジェクトを[フルビルド転送]します。



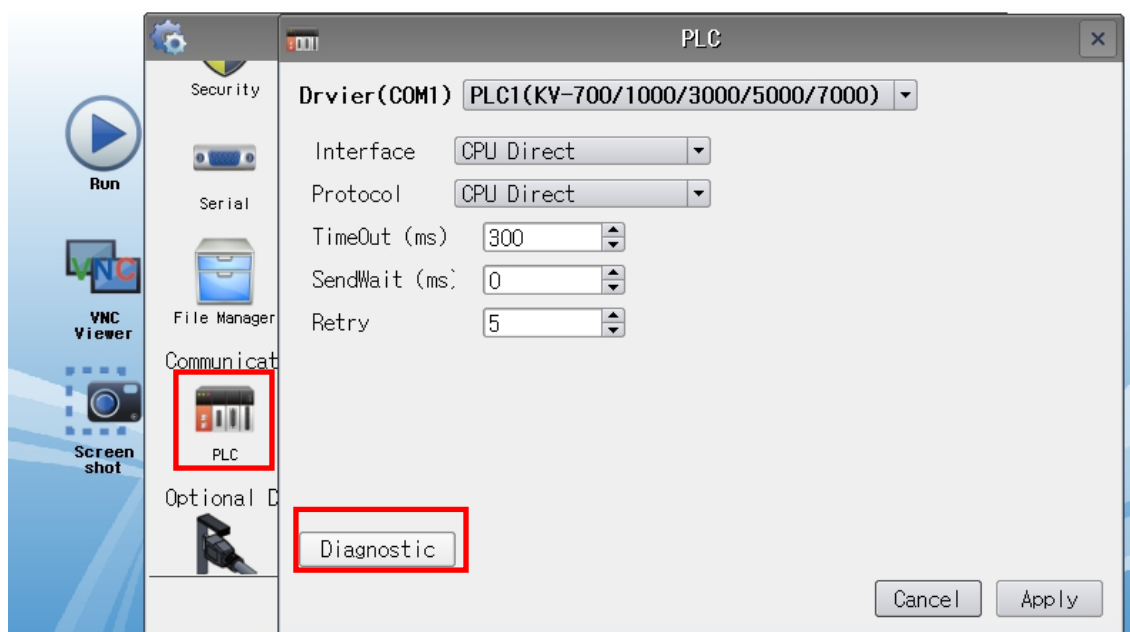
[OS チェックと送信 Complete]が黄色くなった後「送信」ボタンをクリックします。



3. GX8 で通信テストを行う

5-1. GX8 と PLC をシリアル接続ケーブルで接続します。

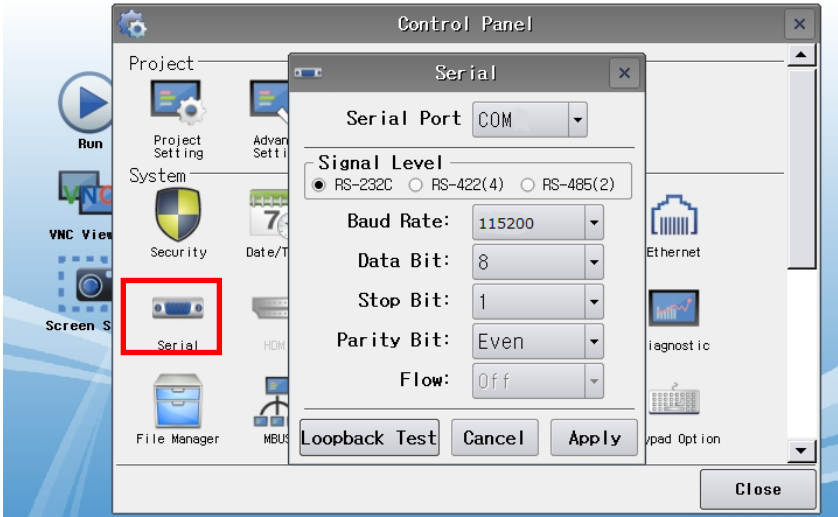
5-2. GX8 のメイン画面を開き(画面上部をタッチしたまま下にドラッグ)、[Control Panel]ー[PLC]で[PLC]画面を開き、「Diagnostic」ボタンを押します。



メッセージ:

通信 OK の場合	
通信 NG の場合	

5-3. 通信 NG の場合、GX8 メイン画面のコントロールパネルを開き、GX8 の設定と PLC の設定を再度確認してください。

タッチパネルのネットワーク情報	GX8 のコントロールパネル 
PLC のネットワーク情報	